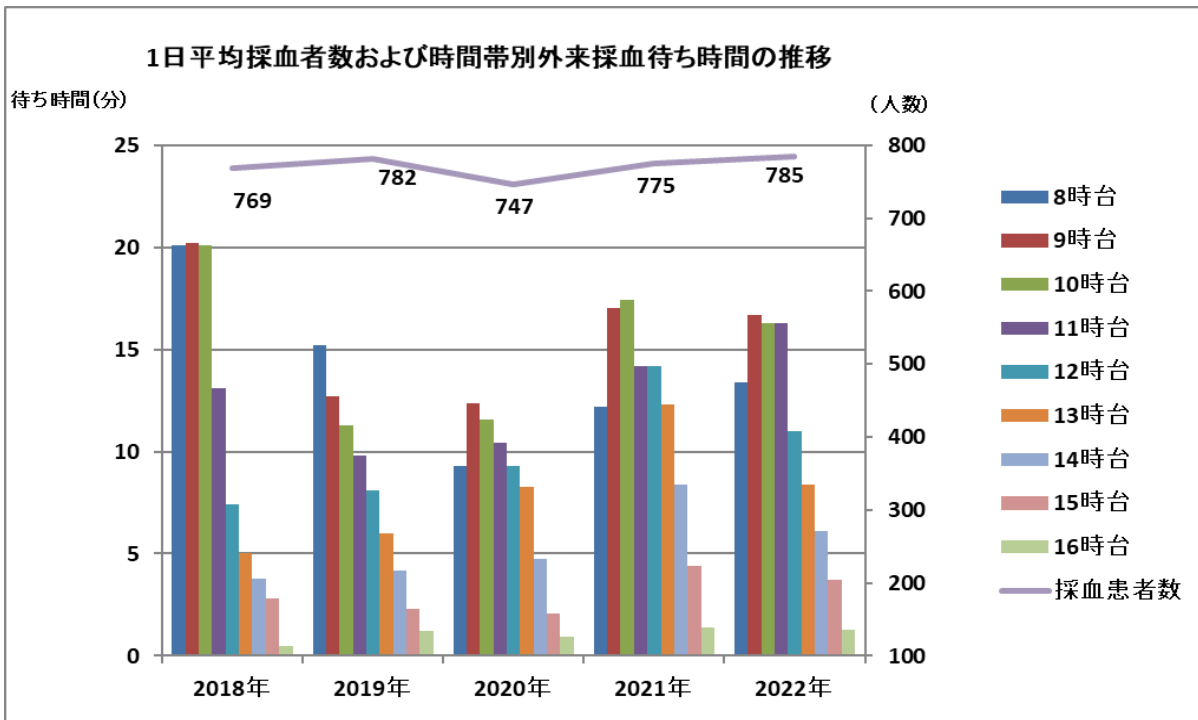


## 時間帯別外来採血待ち時間、採血患者数

### 目的

「1日の平均外来採血患者数」と「時間帯別外来採血待ち時間とその推移」を分析し、待ち時間短縮と外来患者アメニティ向上のための方策を考える参考資料にする。



### データ分析コメント

1日あたりの採血患者数は、2020年度の新型コロナウイルスによる行動制限の影響で減少後、2022年度には、前年比10名増の785名にまで増加しています。(上グラフ参照)

外来採血は現在7時30分から行なっています。採血平均待ち時間は、8時台は13分、9時～11時台は16分で、午前の採血は10～20分の待ち時間が発生することがあります。それ以降の時間帯は徐々に減少していきます。待ち時間の発生要因は、採血患者の増加、治験などの特殊な採血の依頼の増加、車椅子を利用する方の増加、採血が困難な方などで長くなります。

待ち時間の緩和のために、2022年6月より採血室内の待ち椅子と採血ブースの配置を一部変更し、車椅子や歩行器の患者の動線を見直し、採血業務の効率化をはかりました。また、採血開始時は、すべてのブース(12台)で採血が出来る様、可能な限り業務のシフトを調整して採血業務に臨んでいます。さらに採血技師の患者対応や採血技術の向上をはかるため、検査室内での研修を実施しています。これらの結果、前年度と比べ採血の待ち時間は短縮しています。

なお病院は、7:00～7:20の時間帯に時間外出入口で、採血の受付のトラブルを回避するために整理券を発行して対応しています。